

**ServerView Suite
Local System Update for PRIMERGY Servers
補足情報**
(ServerView Update Manager Express / PrimeUp)

■ はじめに

本書は、ServerView Update Manager Express および PrimeUp に関する以下のマニュアルの補足情報です。本書をお読みになる前に、必ず以下のマニュアルもご覧ください。

- Local System Update for PRIMERGY Servers (sv-locsysupd-jp.pdf)

■ 対象バージョン

本書は、以下のバージョンの ServerView Update Manager Express(以下 UME) および PrimeUp を対象にしています。

本書の対象バージョン : UME:6.00 PrimeUp:1.16.10

■ 補足情報

1 動作要件

1.1 サポート機種

ServerView Update Manager Express および PrimeUp は、以下のモデルをサポートしております。

- MX130 S1 / MX130 S2
- TX100 S2 / TX100 S3 / TX120 S3 / TX140 S1 / TX150 S7 / TX150 S8 / TX200 S6 / TX200 S7 / TX300 S6 / TX300 S7
- RX100 S6 / RX100 S7 / RX200 S6 / RX200 S7 / RX300 S6 / RX300 S7 / RX350 S7 / RX500 S7 / RX600 S5 / RX600 S6
- BX922 S2 / BX920 S2 / BX960 S1 / BX924 S2 / BX924 S3 / BX620 S6

2 ServerView Update Manager Express

▶ 共通

2.1 最新版の ServerView Update DVD の入手方法

ServerView Update Manager Express および PrimeUp の最新版は、ServerView Update DVD のイメージファイル(ISO 形式)に収録されています。ServerView Update DVD のイメージファイルは、弊社 Web ページにて無償公開されています。イメージファイルの公開先 URL は、以下の手順で入手できます。

- ① PRIMERGY ダウンロード検索ページにおいて、製品名と型名を選択後、「添付ソフト／ドライバ名称」に「Update DVD」を入力し、「検索開始」ボタンをクリックしてください。
<http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi>
- ② 表示された一覧より入手する版数を選択し、リンク先のファイルをダウンロードしてください。

- ③ ダウンロードしたファイルには、Readme ファイルが含まれています。その Readme ファイルに ServerView Update DVD のイメージファイルが配置されている URL が記載されています。

▶ Windows

2.2 Windows の管理者特権が必要です。

本ソフトウェアは、起動時に管理者特権が必要です。本ソフトウェアを管理者特権で起動しなかった場合、アップデートの処理が完了しても、対象のコンポーネントが正常に適用されないことがあります。

Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 では、Administrator 以外のユーザで本ソフトウェアを利用する場合、以下の手順で起動してください。

- ① スタートメニューなどから、「コマンドプロンプト」に対し、右クリックで表示される「管理者として実行」を選択して 起動する。
- ② Update DVD のドライブに移動する。（例：DVD ドライブのドライブレターが E:の場合、プロンプト上で "E:¥[enter]"）
- ③ プロンプトに "UpdateMgrExpress.bat [enter]" と入力し、本ソフトウェアを起動する。

▶ ServerView Suite Update DVD 起動 および ServerView Suite DVD 起動

2.3 マルチパス環境における留意事項

本ソフトウェアを DVD 起動環境(ServerView Suite DVD の Windows PE から起動した環境 または Update DVD の Linux から起動した環境)で使用する場合、マルチパス構成が設定済みの環境での動作をサポートしていません。マルチパス構成が設定済みの環境では、DVD 起動を行わないでください。

DVD 起動に使用している Windows PE および Linux は、マルチパス構成が設定されているシステムであることを認識できないため、マルチパス構成が設定された 2 つのディスクドライブを同時に認識した場合、システムドライブの一意性を確保する為に、マルチパス構成の片方のディスクドライブ内の ID 情報を更新します。

その結果、既にインストールされているシステムが起動しなくなってしまう可能性があります。

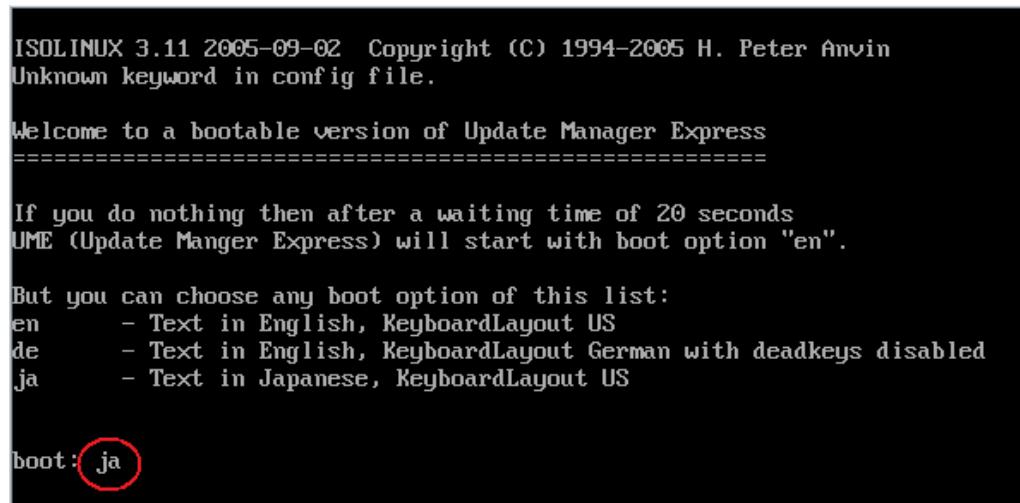
マルチパス接続環境で DVD 起動を行う場合は、事前にFCパスを切断してください。FCパス切断の詳細な手順につきましては、FCカード等のマルチパス環境をサポートしたデバイスの取扱説明書を参照願います。

ServerView Suite DVD 起動した環境ではなく、Windows システム上 / Linux システム上で本ソフトウェアを実行する場合には、マルチパス構成が設定済みの場合でも動作することが可能です。

▶ ServerView Suite Update DVD 起動(Linux 環境)

2.4 SVS Update DVD 起動を行なう場合、キーボードを使用して”ja”と入力する必要があります。

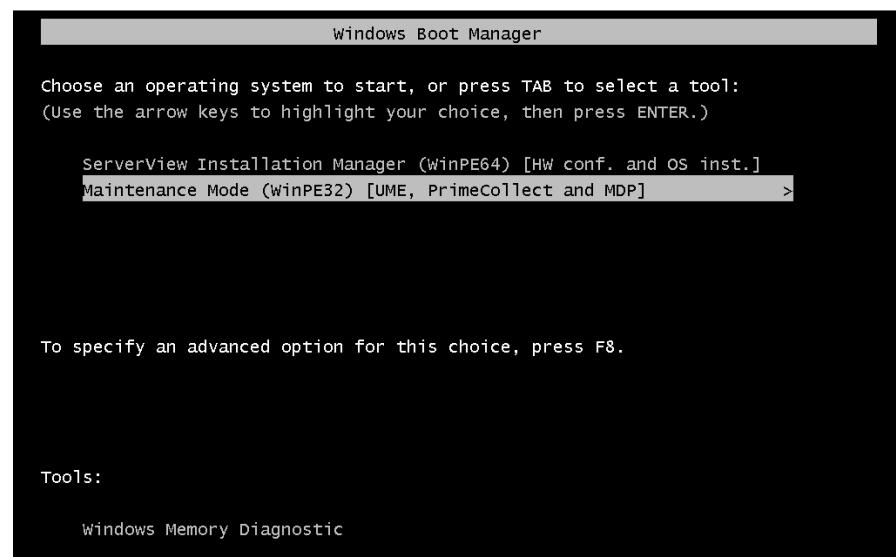
V10.12.05 以降の SVS Update DVD では DVD から起動する事ができます。日本語のモードで起動するには、DVD からブートする際、“boot:”というプロンプトが表示されてから 20 秒以内に、“ja”と入力し、ENTER キーを押下してください。これにより Update Manager Express が日本語で起動します。



▶ ServerView Suite DVD 起動(Windows PE 環境)

2.5 ServerView Suite DVD 起動を行なう際に、「Maintenance Mode (WinPE32)」を選択してください。

ServerView Suite DVD 10.11.08 以降の DVD をご使用の際、起動時に Windows Boot Manager 画面が表示されます。本ソフトウェアを ServerView Suite DVD 起動した環境で使用する場合、「Maintenance Mode (WinPE32)」を選択してください。



以上